

展示日程のご紹介

期間	展示者	展示物
10/10～10/23	竹盛妙子	絵馬
10/24～11/6	ママさんプラスUji	写真
11/7～11/20	男女共同参画支援センター	女性に対する暴力をなくす運動展示
11/21～12/4	京都宇治隼隊	活動と野鳥の写真ほか
12/5～12/18	障害者週間記念事業実行委員会	障害者週間啓発展示
12/19～1/8	NPO法人 認知症友の会	写真等
1/9～1/22	地域子育て支援基幹センター ファミリー・サポート・センター	啓発展示
1/23～2/5	Hot!ふれあいサロンのんこ	絵手紙・ぬりえ・折り紙・手芸作品ほか
2/6～2/19	Hana花保育園	園児作品展示
2/20～3/5	天ヶ瀬苑デイサービスセンター	書道作品
3/6～3/19	サークル織姫	手芸(織物・編物ほか)
3/20～4/2	宇治「フォト575」	写真&川柳「フォト575」

市民の皆様
の力作を
ぜひ見に来て
ください!



9/12～9/25 展示 墨友会の水墨画



5/9～5/22 展示 黒江直弘さんのペーパークラフト

インターンシップ生の紹介

男女共同参画支援センターでは毎年、大学生の将来の進路決定への協力の1つとして、インターンシップ生を受け入れています。今回は8月の約2週間センターでインターンシップをした、立命館大学2回生の山崎小百合さんにお話を伺いました。

こんにちは。男女共同参画支援センターにインターンシップ生としてお世話になりました、立命館大学2回生の山崎です。私がこのインターンシップに参加した理由は、将来公務員を目指しているということから、実際に公務員のお仕事を体験できることや、公務員の方々と一緒にお仕事ができるため、正課授業では学べないことが得られると考え、希望しました。宇治市の男女共同参画に対する取り組みについては、以前から知っていましたが、今回のインターンシップを通して、女性に対する様々な支援を実際に見たり、聞いたりすることができました。また、成人式に配布するデートDVに関する啓発しおりを作成するにあたっては、同年代の人々にもっとデートDVが身近に存在していることを知るきっかけを提供したいため、一生懸命作成させていただきました。とても親切な職員の方々のもとで、無事インターンシップを終えることができ、大学卒業後の進路決定の良い経験となりました。



編集・発行 宇治市男女共同参画支援センター

〒611-0021 宇治市宇治里尻5-9 ゆめりあうじ内
TEL: 0774-39-9377 FAX: 0774-39-9378 mail: danjokyoudou@city.uji.kyoto.jp



リズム RHYTHM

男女共同参画基礎講座

*当講座は、内閣府の「地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業」として行います。

みんなで話そう・考えよう “これならできる!”地域防災

—男女共同参画の視点からの防災・減災・復興—

地震や豪雨などの災害に備え、みんなで意見を出し合いながら、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを一緒に考えてみませんか。

日時と内容(全3回)

① 10月20日(日)
13:30～16:00

京都府南部地域豪雨災害から考える女性と地域防災 「もしも」に備える「いつも」
○宇治市災害ボランティアセンター報告
○豪雨災害時の活動記録パネル展示
○宇治市の防災の取組について

講師

相川康子さん (NPO 法人 NPO 政策研究所専務理事)
海老名典子さん、吉田秀子さん (宇治市災害ボランティアセンター)
宇治市危機管理課職員

② 11月2日(土)
13:30～16:00

「その時」のために考える 多様な視点を活用した防災、減災、避難所運営
○「避難所運営ゲーム HUG」を使った避難所運営シュミレーション

講師

相川康子さん
宇治市危機管理課職員

③ 11月10日(日)
13:30～16:00

災害に強い地域づくりのために
—今、わたしにできること—

講師

相川康子さん

定員 30名
会場 男女共同参画支援センター 会議室1
参加費 無料
保育 0歳～小学3年生 (申込要・多数の場合抽選)

申込 10月11日(金)まで(必着)に講座名、氏名、住所、連絡先(電話かメールアドレス)、保育希望の場合は子どもの名前(ひらがな)と年齢を、電話、ファクス、Eメール、郵送、または直接センターまで。

市民企画サポート事業

幅広く男女共同参画をテーマにした企画を募集します!

企画
提案
募集中

募集期間
10月25日
まで!!!

- 応募資格 ● ①市内在住・在勤・在学の人を含む団体・グループ、個人
*次の事項を満たすこと ②市内に活動拠点があり、市内を活動領域にしている
- 対象事業 ● ①「第3次UJiあさぎりプラン」の基本方向・計画課題に該当する
*次の事項を満たすこと ②センターを会場とし、他の機関から別に助成を受けない
③営利・宗教・政治活動を目的としない
④年度内に終了する
- 支援内容 ● ①センターの会議室・設備の無料貸し出し
②センターの印刷機使用、広報活動への協力等
③事業保育の実施(予算の範囲内で上限あり)
- 応募方法 ● センターにある指定の提案書に必要事項を書き、直接センターへ提出してください。審査会で審査のうえ決定します。詳しくはセンターへお問い合わせください。

「専門所で活用ください」

●情報誌「リズム」の送付 男女共同参画支援センター情報誌「リズム」を希望する事業所に送付します。「リズム」は宇治市ホームページからもダウンロードできますので活用ください。

まずは、ご連絡ください。▶▶宇治市男女共同参画支援センター
TEL0774-39-9377 FAX0774-39-9378
danjokyoudou@city.uji.kyoto.jp

9月10日は世界自殺予防デー つながり、支えあう自殺予防

年間、交通事故死の6倍以上にあたる人が自殺しています

警察庁のデータによると、自殺者数が平成10年以降、14年連続して3万人を超える状態が続いていましたが、24年は2万7858人と15年ぶりに3万人を下回りました。
京都府の自殺者数は平成10年に687人となり、前年度比で4割近く増加して以来、600人前後で推移し、24年は464人と減少しています。自殺者の7割が男性であり、20歳代77%、60歳代で76%と高い割合を占めています。

自殺原因を男女別で見ると、「経済・生活問題」と「勤務問題」の9割近くを男性が占めています。「男は弱音をはかないもの」といった意識から、悩みを抱えながらも誰にも相談できず、自殺へと追い込まれてしまっているのかもしれない。「男だから」といった固定的役割分担意識を変えることで、より暮らしやすい社会を築いていけないでしょうか。

電話で相談できます

もしあなたが悩みを抱えていたら、ぜひ相談してください。
身近な人が悩みを抱えていることに気づいたら、相談窓口を紹介してあげてください。
本人が拒否する場合は、家族や周囲の方から相談されることも、ひとつの糸口になります。

相談機関	電話番号	開設時間
京都府自殺ストップセンター	フリーダイヤル 0120-556-097	月～金 9時～20時
こころの相談電話	075-645-5155	月～金 9時～12時 13時～16時
京都いのちの電話	075-864-4343	24時間
京都府山城北保健所	0774-21-2193	月～金 9時～12時 13時～17時
京都自死・自殺相談センター Sotto	075-365-1616	金・土 19時～翌朝5時半
よりそいホットライン	フリーダイヤル 0120-279-338	24時間

●相談窓口情報を検索できるサイト

いきる・ささえる相談窓口 <http://ikiru.ncnp.go.jp/ikiru-hp/ikirusasaeru/>
いのちと暮らしの相談ナビ 生きる支援の総合検索サイト <http://lifelink-db.org/>
こころの耳 働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

声をかけることからはじめましょう

自殺は様々な悩みにより心理的に「追い込まれた末の死」であり、自殺を考えている人は悩みを抱え込みながらも助けを求めるサインを発しています。
周囲の人が自殺につながるサインに気づき、声をかけ、関わりを持つことが、自殺予防の重要な役割を果たすことになります。

ゲートキーパーに特別な資格は要りません

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。話をよく聞き、一緒に考えてくれるゲートキーパーがいることは、悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心を与えます。
ゲートキーパーとして必要な基礎的知識を掲載した「誰でもゲートキーパー手帳」やゲートキーパー養成研修用テキスト、DVDを内閣府自殺対策推進室のホームページで公開しています。
<http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/index.html>

センター3階活動スペースで自殺関連図書の特展展示をしています。貸し出しできますのでご利用ください。

市民企画サポート事業

良子さんピースボートに乗る 地球一周船の旅

&

「アフガニスタン 干ばつの大地に用水路を拓く」 DVD上映

ピースボートに乗船し、地球を一周した市民グループのメンバーの訪問国での体験談と、アフガニスタンで NGO 活動を続けるペシャワール会・中村哲医師と現地の人々が用水路を拓く DVD の上映を通じ、世界の人々の現状を知り、私たち一人ひとりができることを考えます。

この講座は「グループ ハンドベル」が企画し、センターが共催で実施する事業です。

日時 10月13日(日) 14:00～16:30
定員 100名
会場 男女共同参画支援センター 会議室1
参加費 無料(申込不要)
話し手 岩本 良子(いわもと よしこ)さん
(グループ ハンドベル メンバー)



関係団体のご紹介

このコーナーでは毎回、宇治市男女共同参画支援センター関係団体を紹介しています。
今回は上映会、講演会、朗読会など感性に訴える催しなどに取り組み、上記の市民企画サポート事業を企画されたグループ ハンドベルさんをご紹介します。

グループ ハンドベル

2005年に設立したグループです。
男女共同参画社会の推進はもちろん、いのち、人権、平和にかかわる問題にアンテナを張り、問題提起することで、地域に貢献しようとしています。

●message●

10月に行う講座では、ピースボートに乗船した当グループのメンバーが体験談をお話しします。どんな話が飛び出すかは、来てのお楽しみです！
また、その後にDVD上映する ペシャワール会 中村哲医師の活動は、たくさんの方が共感されるのではないかと思います。
皆さん、ぜひお越しください！